

支部便り

## TECH Biz Expo 2016への東海支部出展報告

### Brief report of exhibit at TECH Biz Expo 2016 as Tokai branch of Japan Institute of Light Metals

赤堀 俊和\*

Toshikazu AKAHORI\*

平成28年11月16日～18日の3日間、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて開催された「第6回ものづくり基盤技術産業展—TECH Biz Expo 2016」に、一般社団法人軽金属学会東海支部として、展示および名古屋国際見本市委員会との共催で講演会を行ったので、以下概要を報告する。

本展示会は今年で第6回目と比較的新しい展示会で、ものづくり基盤技術産業展の言葉通り、メーカーのみならず、大学、各種研究機関、官公庁研究所などが、基本技術から応用に至る幅広い展示を行っていた。

東海支部は本展示会に第2回目より出展しており、今回は5回目の出展である。出展のテーマは東海支部の理事ほか、多数の皆さんからのご意見を頂き、「ものづくりを支える軽金属の加工技術～塑性加工を中心に～」とし、展示および講演会の企画を行った。

#### 〈展示〉

展示パネルおよび展示品は、軽金属学会東海支部を紹介するパネル（概要、主な活動、軽進会および女性の会の活動）と講演会にて講演を行った企業の新技術紹介パネルおよびサンプル（アルミニウム合金製バンパおよび中空押出型材など）を持ち寄り、展示・紹介した。

講演の中で、司会者および各講演者が展示内容を繰り返しアナウンスしたことにより、講演会後にブースを訪れて実際の物で確認する人が多くなった。

結局、3日間で多数の来場者にご覧頂き、24通のアンケート（講演会では68通）を頂いた。

#### 〈講演会〉

昨年のテーマ「ものづくりを支える軽金属の加工技術～接合技術を中心に～」に続き、本年度は「ものづくりを支える軽金属の加工技術～塑性加工を中心に～」と題して、以下の基調講演を含む5件の講演を行った。講演プログラムと講演者（敬称略）は以下の通りである。

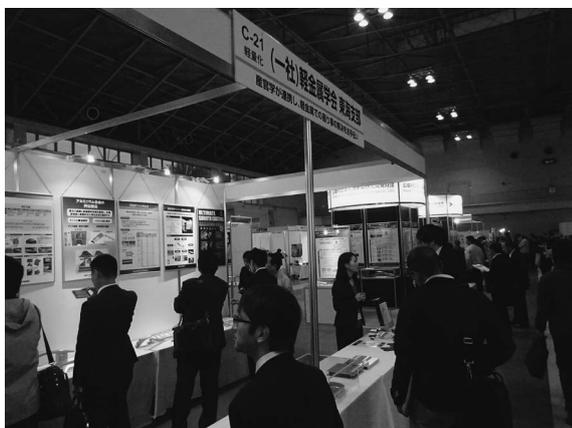
- 1) 日本の塑性加工技術の現状と将来展望  
中部大学 石川 孝司
- 2) 軽量アルミニウム製バンパーの加工技術  
株式会社UACJ 田中 晃二
- 3) アルミニウム合金板材の成形技術  
株式会社神戸製鋼所 小西 晴之
- 4) 数値シミュレーションを利用した押出しダイス設計技術  
日本軽金属株式会社 林 沛征
- 5) 次世代のアルミ部品を支えるアルマイト技術

株式会社ミヤキ 遠藤 優希

当日の会場は150名定員に対して、聴講者は事前予約にて満席となり、塑性技術への関心の高さをうかがい知ることができた。また5番目の講演は東海支部企業奨励賞を受賞した(株)ミヤキによるものであり、支部の活動の一端を紹介する意味でご講演をお願いした。この発表も大変好評であった。

最後に、各講師の皆様、本企画・運営にご協力頂いた当会支部理事・評議員の皆様様に御礼申し上げます。

（企画担当：赤堀俊和（名城大学）、田中敏行（株）神戸製鋼所）、  
斎藤尚文（産業技術総合研究所）、  
川畑博之（株）豊田中央研究所）、金兒龍一（KYB株）。



\*名城大学 理工学部 材料機能工学科（〒468-8502 愛知県名古屋市天白区塩釜口1-501） Department of Materials Science and Engineering, Faculty of Science and Technology, Meijo University (1-501 Shiogamaguchi, Tempaku-ku, Nagoya, Aichi 468-8502)  
受付日：平成28年11月30日